

平成20年度  
認知症地域支援体制構築等  
推進事業への取り組み



松阪市介護高齢課

松阪市の概要

○平成17年1月1日 市町村合併(1市4町)

- ・ 623.8km<sup>2</sup>の広大なエリア
- ・ 山間部、市街地、海辺・・・
- ・ 古くからの歴史や文化を有するまち



総合計画との関連

市民・地域の個性が光り輝き、  
誇りと美しさを備えた交流都市 まつさか

実現のための基本的考え方

- (1) 市民・行政の協働によるまちづくり
- (2) 地域社会・コミュニティを重視したまちづくり
- (3) 交流と連携を生かしたまちづくり

地域福祉計画の基本理念

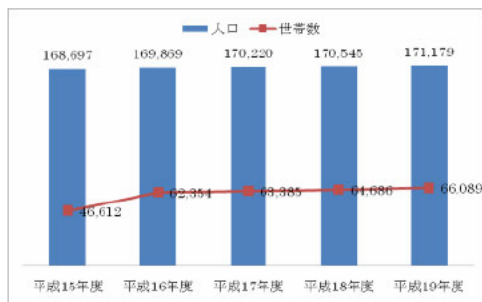
誰もが主役

地域の絆による支え合いのまち松阪

<基本目標1～5>

- ① 人と人とのつながりのあるまち
- ② 一人ひとりが主役になれるまち
- ③ 安心して暮らせるまち
- ④ 意識を高め、学びあうまち
- ⑤ 歴史と文化を大切に、伝えていくまち

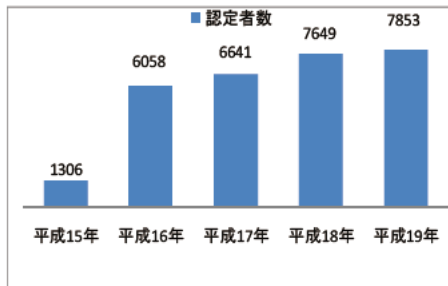
松阪市の人口の推移



各管内の高齢化率

|       | 平成15年度 | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平成19年度 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 松阪市全体 | 21.3   | 21.5   | 21.8   | 22.3   | 22.8   |
| 本庁管内  | 20.4   | 20.6   | 20.9   | 21.5   | 22.1   |
| 磯野管内  | 21.8   | 21.9   | 22.1   | 22.6   | 23.2   |
| 三雲管内  | 18.5   | 19.0   | 18.8   | 18.4   | 18.4   |
| 新所管内  | 30.7   | 31.1   | 31.9   | 32.3   | 32.9   |
| 飯高管内  | 38.0   | 38.4   | 37.1   | 38.6   | 39.3   |

## 要介護認定者数の推移



## 高齢者の状況

(前期高齢者・後期高齢者の状況)

前期高齢者は約1.6倍、  
後期高齢者数は2.1倍に増加

昭和50年比

後期高齢者は、前期高齢者と比べ、介護や医療を必要とする方の割合が高く、認知症発症率も高い。こうした点からも行政の施策と同時に地域での支え合いが必要となってきていることが窺える。

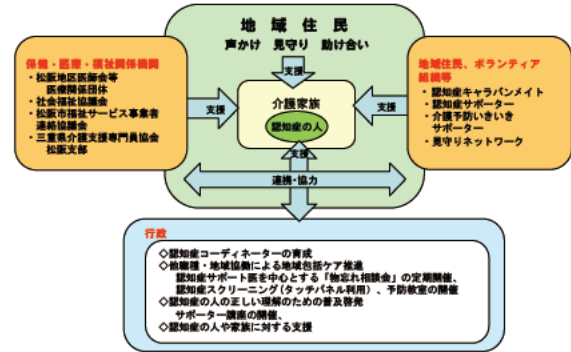
## 生活圏域と地域包括支援センター

- 生活圏域 13ヶ所
- 地域包括支援センター

平成18年度 3ヶ所→平成19年度 5ヶ所に。  
すべて委託で運営。複数の生活圏域を担当。

- 第一地域包括支援センター(医師会)
- 第二地域包括支援センター(社協)
- 第三地域包括支援センター(社協)
- 第四地域包括支援センター(嘉祥会)
- 第五地域包括支援センター(太陽の里)

認知症の人が尊厳をもって  
その人らしく生きることができる地域社会

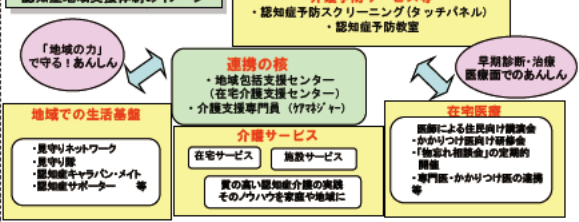


## 松阪市がめざす認知症地域支援体制は...

認知症になっても住み慣れた自宅や地域で、安心して暮らし続けたいという願いを最大限尊重できる体制の構築を図る。

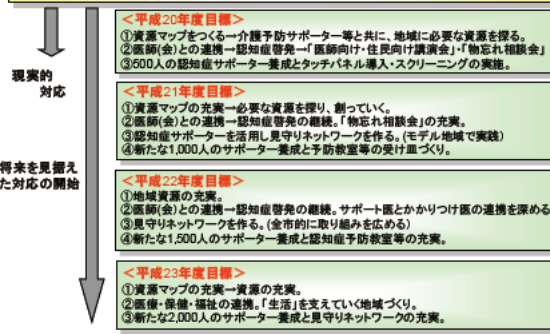
地域の保健・医療・福祉、さらにはインフォーマルサービス等も含めた総合的な体制整備を図り、高齢者の生活全般を支援する。地域の見守り体制を構築し「地域力」を高める取り組み。

認知症地域支援体制のイメージ



## 松阪市認知症地域支援体制の進め方

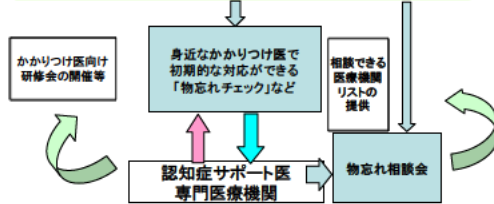
めざすべき姿 高齢者が元気に輝きながら暮らせる松阪  
認知症を理解し、支える人を5,000人に!



## 地域における 認知症医療ネットワークの必要性

<目標> 早期受診、早期診断への道筋の確立  
早期サービス利用を支援する体制づくり

ケアマネジャー等が、認知症の疑いを持っても、どこへ相談したらよいのかわからない。  
家族が混乱しており、受診にまで至っていない。



## 推進事業プロジェクトチーム体制

### ○コーディネーターの配置

- ・将来的には各地域包括支援センターにおく。  
(認知症担当者配置を視野に入れて)
- ・本年度は市の担当者(3名)が役割を担う。

### ○コアメンバー

- ・5つの地域包括支援センターから1名ずつ

## 地域資源マップづくり

- ・各地域包括支援センターエリア毎に小地域を定めて取り組む。→ 段階的に着手
- ・「キャラバン・メイト」や「介護予防いきいきサポーター」らと共に。コアメンバー以外に、小地域での人材をピックアップし、地域課題や資源の洗い出しを行う。  
→ 点を線に 人材の掘り起こし

## 人材育成と地域ネットワークづくり

- ・あらゆる公共機関との連携
- ・既存のグループへのアプローチ
- ・人と事業を結びつける  
認知症予防教室 地域の受け皿づくり  
キッズおよび職域サポーターへの広がり
- ・ツールの工夫

## 具体的な取り組み①

### ○医療との連携

『物忘れ相談会』の定期開催  
8月7日(木)、9月18日(木)・・・

医師会(精神科医・神経内科医等)の協力

### ○かかりつけ医への研修

8月2日(土)19:30～

鳥取大学医学部教授 浦上 克哉先生

## 具体的な取り組み②

### ○『認知症講演会』開催 一般住民向け

8月3日(日) サポーター講座を兼ねる  
鳥取大学医学部教授 浦上 克哉先生

### ○認知症キャラバン・メイトの集い

メイトへの継続的な支援  
7月18日(金)サポーター講座の  
経験豊富な方から学ぶ。

### 具体的な取り組み③

○認知症講演会(各地域で開催)

講師 三重県立看護大 伊藤 薫先生

- ・10月21日(火) 飯高
- ・10月30日(木) 三雲
- ・10月31日(金) 本庁管内
- ・11月12日(水) 嬉野
- ・1月27日(木) 飯南